A 27 群馬県神津牧場のアブ、4 種トラップでの捕獲数と種構成の相違
渡辺 護 (富山県衛生研究所)

Differences in the captured numbers and species composition of Tabanid-flies surveyed by four type traps collections in Kozu pasture, Gunma.

Mamoru Watanabe

1999 年と 2000 年に群馬県と長野県の県境にある、標高約 1,100m の神津牧場においてキャノピトラップ 2 台、蚊帳トラップ 3 張、マレイズトラップ 6 張とボックストラップ 3 台を 5 月中旬から 10 月まで設置してアブの捕獲調査を行った。前 2 者は 2 週間おきに毎回同じ場所において二酸化炭素(CO₂)誘引で捕獲を行い、後 2 者は CO₂ 無添加で連日捕獲を行い、2 週間おきに捕獲アブを回収することで、4 種トラップの捕獲数と種構成を比較検討した。その結果を 2 年間の成績でまとめると、キャノピで 6 属 18 種 3,082♀個体、蚊帳で 5 属 18 種類 2,468♀3♂個体、マレイズで 6 属 17 種 591♀8♂個体、ボックスで 6 属 17 種 7,204♀10♂個体が捕獲され、全体では 7 属 23 種 13,345♀21♂個体になった。各トラップともニッポンシロフアブが最も多く捕獲され、それはボックスで顕著であった。

A 28 衛生害虫の伝統的な対応法

(10) 国内のマラリアの変遷

○ 秦 和壽 (防虫研) 栗原 毅 (国立感染研)

Traditional control methods of medically important insects and mites. (10) Malaria control.

Hata K. and Kurihara T.

蚊が媒介する重要な疾病は、世界的にもマラリアである。同病は温帯モンスーンのわが国でも古代から昭和 10 年代まで広く蔓延したが、昭和 20 年代で国内から激減させた。本報告は、古代から近代までの九州以北の土着マラリアの興亡を衛生動物史的に考察する。古名は「おこり」等と呼ばれた。効果的な治療法はなく、「おこり落とし」のような加持祈祷かせいぜい栄養物を摂取するしかなかった。近代的な資料は明治政府の陸軍統計で、明治 35 年に内地で 6077 名の新患者を報告した。内務省の衛生局年報は同時代に全国には約 20 万人の患者の存在を示している。昭和 10 年代でも同患者数は年間約 2 万名が存在した。都市化現象はマラリアを減少させたと考えられる。